

初心単元

我孫子市立湖北小学校
第6学年・学年便り
2018. 9月号

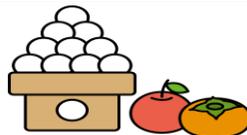
☆2学期が始まりました☆

長い夏休みが明けて、蝉の音が響いていた校舎にも、子ども達の声が戻ってきました。さて、2学期には修学旅行を始め、音楽発表会、陸上競技大会、持久走大会、都内見学などの多くの行事があります。子ども達が活躍する場面が多くあります。中学校進学に向けて、一人一人の力を更に付けていきたいと思ひます。

まずは9月の修学旅行のために、実行委員や各係で準備を進めていきます。事前準備をきちんと行い、小学校生活最後の思い出に残る旅行にしたいと思ひます。2学期も担任一同努力してまいりますので、ご協力をお願いします。

9月の行事予定

3日	月	始業式 11:30 下校 登校指導	17日	月	(祝) 敬老の日
4日	火	3時間日課 11:50 下校 登校指導 地区別集団下校	18日	火	6年生修学旅行代休
5日	水	給食開始 発育測定 委員会活動	19日	水	沼っ子タイム④
			20日	木	学習参観 (5校時)
6日	木	避難訓練	21日	金	
7日	金	代表委員会	22日	土	
10日	月	夏休み作品展 (~14日まで)	23日	日	(祝) 秋分の日
12日	水	クラブ活動⑤	24日	月	振替休日
14日	金	修学旅行1日目	25日	火	ロング昼休み
15日	土	修学旅行2日目 市内科学作品展① (アビスタ)	26日	水	沼っ子タイム⑤
16日	日	市内科学作品展② (アビスタ)	27日	木	集金日 青空学級②

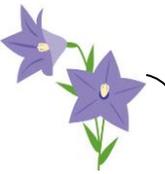


9月の生活目標

◎早く学校の生活に慣れ、生活のリズムをつくろう。

○清掃用具を上手に使おう。

- ・①挨拶をする, ②時間を守る, ③掃除にしっかり取り組むことを柱に、生活全体のリズムを取り戻します。
- ・掃除の仕方をもう一度確認します。



9月の学習予定

<国語> 随筆を書こう 熟語の意味	<算数> 角柱と円柱の体積 比と比の値 拡大図と縮図	<社会> 江戸幕府と政治の安定 町人の文化と新しい学問	<理科> 月と太陽
<体育> ハードル走 ティーボール マット運動	<音楽> 和音の美しさを味わおう	<図工> 県展への取り組み	<家庭科> 生活を楽しくしよう ソーイング
	<総合学習> 日光についてまとめよう	<道徳>	

お知らせとお願い

今月の集金は、2000円です。
詳しくは裏面を参照してください。

○修学旅行について

持ち物や詳しい日程については、後日配布するしおりの方でご確認ください。また、9月8日(土)から6日間「個人健康チェック」を毎日行うよう、宜しくお願いします。

○夏休み作品展について

今年度は、夏休み作品展が9月10日(月)から9月14日(金)までの4日間です。6年生の展示場所は、4階の高学年プレイルームです。(15:30~16:30)

○持ち物について

2学期の授業が始まります。教科書やノート、筆記用具、絵の具など、必要な用具の確認と記名を宜しくお願いします。

○家庭科作品の制作について

家庭科ではトートバッグを制作します。今回は、全員分を一括で注文し、教材費で集金させていただきます。指定の教材から、好きな柄や色を児童に選択させます。9月下旬頃から制作を始める予定です。裁縫セットの中身の確認をお願いします。(刺繍糸が足りない場合は補充をしてください。トートバッグ作りで使います。)

○連絡メールの登録をお願い致します。(修学旅行の連絡でも使います。)

2学期の集金について

ワークテスト（国語・算数・社会・理科）	290 × 4 = 1,160円
繰り返し漢字ドリル	330円
繰り返し計算ドリル	330円
計算ドリルばっちりノート	170円
夏ドリル	350円
トートバッグ材料	750円
トートバッグ装飾用フェルト	330円
図工（人の芯材）	290円
紙粘土	260円
県展枠	40円
書き初め手本、用紙	250円
合計	4,260円

2学期の集金4260円を3回に分けて集金します。余剰分は年度末に調整致します。

9月 2000円

10月 2000円

11月 1000円

9月の集金は2000円となります。よろしくお願ひします。

親子のコミュニケーションを大切にしよう

人は、生まれてからいろいろな人と接することでコミュニケーションの力をつけていきます。思春期の子もだからこそ、親と子の間で意識して会話をすることが必要になります。

普段のやりとりをちょっと工夫してみませんか？

○こんなところを意識して

*言葉と表情は合っていますか？

「目は口ほどにものを言う」ということわざがあります。言葉を発した時、それにふさわしい表情をするよう心がけることで、親としての考えや気持ちがはっきり伝わります。

*「言わなくてもこのくらいはわかってくれるだろう」と思っていますか？

言わなくても分かり合える関係は何もしなくてもできるものではありません。言葉にしないと伝わらない時もあります。日常のあいさつや他愛のない会話を大切にしてください。

○子どものメッセージを受け止める

*態度と言葉が合わない表現はありませんか？

時と場にとぐわぬ発言や行動に出会ったら、「何か言いたいことがあるのかな？」とちょっと気をつけてみましょう。大丈夫といながら声が沈んでいることもあります。言葉でうまく言えない時には、体の不調等で訴えることもあります。

*正面から受け止めていますか？

親として気になる言動があったら、「自分がどんなふう感じているか」を伝える事が大切です。思春期はとかく理屈っぽくなりがち

です。そんなとき真剣に受け止めて、大人としての意見を言ってみましょう。そのことが、親にとって子どもがかけがえのない存在であることを伝えることにもなります。また、真剣に話し合えたら、話し合えたことについての親としての感想（例：「すいぶん深く考えているのに感心した」など）を添えるよいでしょう。

○こんな時は、こんなふうに言ってあげたら？

*ほめる時

大げさにならないように事実をほめることが基本です。子どもの努力や取組の姿勢などを認めて言葉をかけましょう。親としての感想をさり気なく短い言葉で伝えるのがポイントです。

*叱る時

こちらも事実を大げさにならないようにすることが大切です。よくない点を簡潔に伝えましょう。その行為がよくないのであって、本人を否定するような言い方（例：「全く何やってるのかしら。」「だから～なんだ」など）にならないように気をつけましょう。

人は失敗しながら成長していくものなので、失敗が次へのステップになることを話してあげられるとよいのではないのでしょうか。

参考：栃木県教育委員会より

言葉は心の表れ

5, 6年生でも平気で「ウザイ」「キモイ」「死ぬ」という言葉を使っている子がいます。子供達の心が不安定なんですね。とても可哀想です。大人が何とかしてあげなければいけません。言葉にはその人となりが見れるといわれています。

相手の手の気持ちを推し量る能力や美しいものとそうでないものを判断する目が育っていないのです。逆に美しい言葉は人を和ませます。児童文学の名作と言われている作品はそれはそれは美しい日本語に訳されています。読んでいただけで普段の自分の言葉が恥かしくなるほどです。

5, 6年生の柔らかい頭と心にたくさん美しいものを見せてあげましょう。5, 6年生になると興味がはっきりと現れてくる頃です。ピアノが好きなら演奏会に、絵が好きなら美術館に、お笑いが好きなら演芸場に連れて行ってあげましょう。そして鍛錬を積んだ人の生き様をしっかり見せてあげるのです。

魂がこもったものには人を惹き付ける美しさがある、言葉もしかりだと教えてあげてください。5, 6年生ならばその意味を理解し「ウザイ」という言葉を聞いたとき(醜い)と気付くことでしょう。一度気付くともうめったなことではその言葉を使いません。自分が醜くなると分かるから。

「そんな言葉使ったらダメ。」ということは簡単ですがそれでは子供の心に届きません。逆に本当に美しいものを教えてあげることが大切です。心の美しさが表れるような言葉、大人も意識してゆかねばなりませんね。

参考：子育てママ悩み解消！

